

二〇二二年度 トキワ松学園中学校入学試験
適性検査型 適性検査I B 問題用紙

受験番号

開始と同時に受験番号を
書き入れなさい。

【問題】 次の[A]、[B]の文章、[C]会話を読んであとの(1)～(10)の各問いに答えましょう。なお、問題作成のため、一部文章を省略してあります。

[A]

哲学は、じぶんで考えながら、問題を見つけ、解いて行く学問です。もう少しわしくいえば、大多数の人があまり気にしないことが気になって根ほり葉ほり考えて行く人が、哲学的な人なのです。そうして、その、気になることは、哲学者によってもちがってきます。また、その解決の仕方、人によってちがってくることもあるのです。

その点、自然科学が安定しているときに、一つの問題を、大ぜいの科学者が、共通の方法でせめて行くのとは、①ちがった感じを、大ぜいになる科学者が出てくること、かなり哲学的

そのときには、問題のたて方、解き方について一定の基準があるわけではありますから、そういう科学者はたいへん苦しむことになるのです。

哲学的になることは、だれにでもできることではありませんし、また、そうなるから偉いといったものではありません。

しかし、哲学的になるきつかけがどこにあるかを知っておくことは、だれにとっても、だいじなことだと思えます。そのうえで、そのきつ

かけをつかむかどうかは、人によってちがうことですから、ここでは、きつかけになる問題だけをならべておいたのです。

さて、かりに、きつかけをつかんだとしましょう。

それからさきの勉強は、②かならずしも楽なものではありません。たとえば、存在論をやるうと思えば、少なくとも科学や数学のことをかなり知らなくてはなりません。

場合によっては、宗教のこともしらべなくてはなりません。

つまり、ほかの学問をする人よりも、余計に、多くのものごとを知らなくてはいけなくなる場合があります。

もっとも、なかにはデカルトのように、ほかの学問のことを気にせずじぶんひとりで考えつめるだけで、哲学上のしごとをなすとげたといっている哲学者もいます。

そうして、デカルトの哲学には、いまでも高く③評カされている面があるのです。

しかし、じつはデカルトにしても少年時代、ひじょうに多くのことを勉強しているのです。また、哲学を始めてから、じぶんひとりの考え方にこだわりすぎたところでは、失敗もしています。

このように、哲学には、じぶんで問題をたて、解いて行かなくてはならない面と、ほかの学問の成果をくわしくしらべなければならぬ面とがあります。ですから、哲学の勉強はかならずしもやさしくはないのです。

しかし、その初歩を実習してみようとするのは、それほどむずかし

いことではないかもしれません。

たとえば、自然科学で正しいとされていることの根拠はどこにあるのだろうか、ということをつつこんで考えてみることは、哲学のよい訓練になると思います。

そのとき、おなじ関心を持っている友人がいたら、その点についていろいろ議論してみれば、（あ）おもしろいでしょう。

（出典 吉田夏彦『なぜと問うのはなぜだろう』）

B

③多数決投票のもつ意外性についての理論的研究は、一七八五年コンドルセーによって発見された。いわゆる「投票のパラドックス」が有名である。それは、ひとりひとりの投票者が全く理性的に投票を行ったとしても、多数決による決定が解消不可能な、非合理的結果を導くことを示したものである。

いま仮に、太郎、次郎、花子の三人がそろってどこかへ遊びに行こうかと相談しているとしよう。太郎は映画を、次郎はロック・コンサートを、花子はディスコを提案した。そこで三人はこれらの三つの行き先についての選考順序をそれぞれ全く独立に定めた。

さてここで、まず映画とロックを比較して、④いずれの方がより好

ましいかを決めるために多数決をとったとすると、明らかに、二対一で「映画はロックより好ましい」という結論が出る。そこで今度はロックとディスコを比較したとすると、やはり二対一で「ロックはディスコより好ましい」という結論が出る。それでは映画とディスコを比較するとどうなるだろうか。今までの二つの判断からすれば、当然「映画はディスコより好ましい」という結論が出て当然であろう。ところが「ここであらためて多数決をとると、実は「ディスコは映画よりも好ましい」という矛盾した結論が出てしまうのである。右の場合はすべての可能な対に対して多数決を行った「総当り方式」による投票で生じる矛盾だが、同じことが「⑤逐次勝ち抜き方式」でも生じる。その場合は、どこからはじめるかによって結論が変わるとい矛盾に至る。

（出典 佐伯 胖『「きめ方」の論理と社会的決定理論への招待』）

司会 それでは、今回は「地域の活性化」について、自分たち

に何ができるか考えて行きたいと思います。

ななみ

この地域はレジャースポーツが少ないので、もっと若い人が楽しめるような場所を開発していくべきだと私は考えます。それが多くの意見で、正しい考えだと思っています。

かおり

私も基本的には賛成です。ただ、場所を作るために野山を削り、自然が失われるのが、少し心配です。

さとし

それでも多少の犠牲は仕方がないので、地域の人と観光客が楽しめる場所を作るべきだと私も考えます。先日テレビでそのような番組をやっていました。

司会

それでは、レジャー開発に対する意見が多いようですので、クラス全体の意見としてその方向でよいか、多数決を取ってみましょう。

さとし

そうですね、多数決は民主的だと思います。

たくや

ちょっと待ってください。一つの意見が正しいと決めつけて、それをみんなの意見として通すというのは、間違っていると思います。そして、テレビなどで植え付けられた先入観は危険だと思っています。

かおり

確かに、多数決は先入観や周囲の意見に流されてしまう可能性もありますし、何より少数派の意見は届くことはありません。一つの意見にとらわれないで、色々な可能

性を自分たちで模索して、研究してから考えても遅くないと思います。

たくや

ソクラテスも「無知の知」と言っているように、自分は何も知らないということを知っているということが大切だと思います。だからこそ、もっとも地域についてよく知る必要があると思います。

はるか

お年寄りの意見も聞いてみたいですね。

りさ

わたしは、つい自分がどう思うかよりも、人がどう思うかを気にしてしまっ、いつも流されてしまっているのですが、今回は自分の住んでいる場所のことだし、きちんと調べてみたいと思います。

はるか

そうそう、正解なんてないんだから、一＋一が二になるっていう話とはちがうと思うんです。

司会

誰かの主観ではなくて、客観的なデータや情報を集める必要があるということですね。

ななみ

その点についてはわたしもその通りだと思いました。

(い) にアンケートを取ることも必要です。

司会

それでは、各グループでこの夏休みにアンケートを含めて情報収集することを宿題にしたいと思います。

【注】

※1 デカルト：フランスの哲学者・数学者・自然学者

※2 コンドルセー：フランスの数学者、哲学者、政治家

※3 デイスコ：音楽を流して自由な踊りを楽しむところ

※4 ソクラテス：古代ギリシアの哲学者

(1) ———線①「評カ」の「カ」と同じ漢字を使う熟語を次の1～4の中から一つ選び、記号で答えましょう。

1 カ|題が多い 2 よい結|力が出る

3 カ|値が高い 4 カ|不足なし

(2) ———線①「ちがった感じ」とありますが、それはどのような意味ですか。次の1～4の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えましょう。

1 間違|った方法であること

2 別のやり方であること

3 正当な手順をふんでいないこと

4 なんとなく違|和感があること

(3) ———線②「かならずしも楽なものではありません」とありますが、それはなぜですか。本文中の言葉を使って説明しましょう。

(4) (あ) にあてはまる言葉を次の1～4の中から一つ選び、記号で答えましょう。

1 でも 2 はて 3 なお 4 さて

(5) ———線③「多数決投票のもつ意外性」とありますが、多数決投票のどのようなところが「意外」なのですか。次の1～4の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えましょう。

1 多数決による決定に納得できない人が必ず出てきてしまうというこ|と

2 多数決の理論的研究は全くと言っていいほど進んでいないこ|と

3 すべての人が、必ずしも理性的に投票できるとは限らないこ|ろ

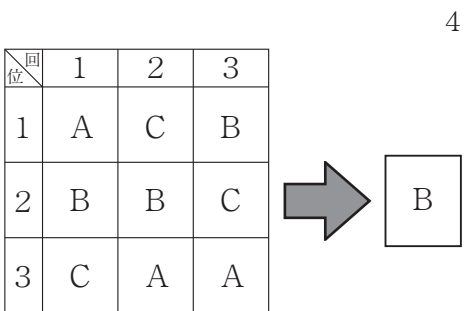
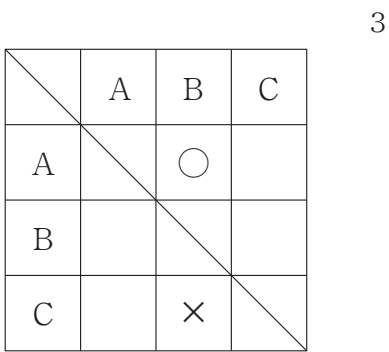
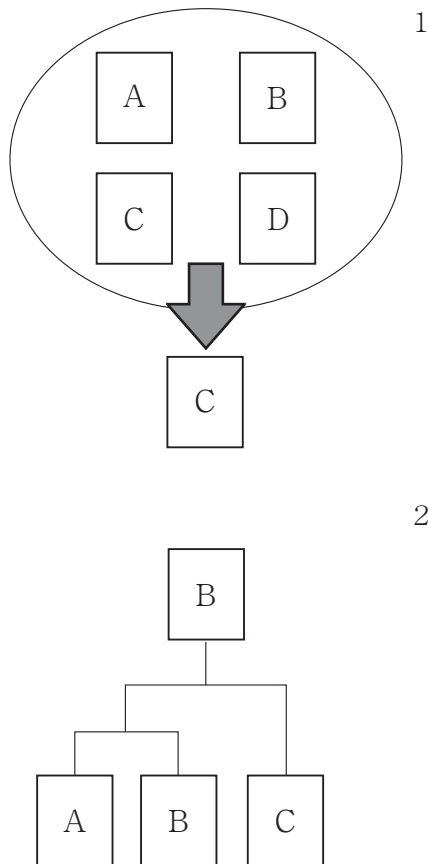
4 公平のはずの多数決なのに非合理的な結果をもたらすこ|とがあるこ|ろ

(6) — 線④ 「いずれ」について、本文と同じ意味で使っているものを次の1～4の中から一つ選び、記号で答えましょう。

- 1 わたしとあなたのうち、いずれかが行かなければなるまい。
- 2 彼はいずれ音を上げるだろう。
- 3 くわしい内容はいずれお目にかかってご説明します。
- 4 いずれの年からこのようなことが始まったのでしょうか。

(7) — 線⑤ 「逐次勝ち抜き方式」とありますが、次の問いに答えましょう。

問一 「逐次勝ち抜き方式」とはどの図をあらわしますか。次の1～4の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えましょう。



問二——線⑤「逐次勝ち抜き方式」がよくない理由として考えられるものは何ですか。次の1～4の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えましょう。

- 1 投票を行う順序によって結果が変わるから
- 2 勝敗は毎回変動するから
- 3 理論上のもので、机上の空論に過ぎないから
- 4 出てしまった結論に関心が向き、先入観を持つから

(8) (い) に当てはまる言葉は何ですか。次の1～4の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えましょう。

- 1 他地域に住む人々
- 2 外国籍の人々
- 3 低年齢ねんれいの人々
- 4 多くの世代の人々

(9) [C] の話し合いの様子をあらわすものはどれですか。次の1～4の中から最も適切なものを一つ選び、記号で答えましょう。

- 1 何人かに意見を聞いて、反対意見がなかったため、それをクラス全体の意見として多数決をとろうとしていたが、より多くの意見や情報を集めて客観視することが必要だという結論に

至いたった。

2 調査し、データを収集したはずなのに、強い人の意見に全体が流されてしまいそうになったが、しっかりと多数決をとって、民主的に決定するということになった。

3 自分がどう思っているかよりも人がどう思うかを優先させてしまつて自分の意見をはっきりと言えないで終わってしまった人がいたが、そういう人たちの考えもくむために、無記名で投票することになった。

4 観光客の意見はないがしろにされ、地域の人の意見のみを考へてしまつていたが、その地域を訪れる外国の方々と交流して、意見を聞こうという方向に決定した。

(10) 正解が一つとは限らない問いについてみんなで考えるとき、どのようなことが大切だと考えますか。具体例をあげながら、後ろの「注意事項」に合うように書きましょう。

〔注意事項〕

○ 解答用紙に三百字以上四百字以内で書きましょう。

○ 原稿用紙の正しい用法で書きましょう。また漢字を適切に使いましょよう。

○ 題名や自分の名前は書かずに、一行目、一マス下げたところから書きましょう。

○ 三段落以上の構成で書きましょう。

○ 句読点（、。）やかっこなども一文字に数え、一マスに一字ずつ書きましょう。また、段落を変えた時の残りのマス目も字数として数えます。

